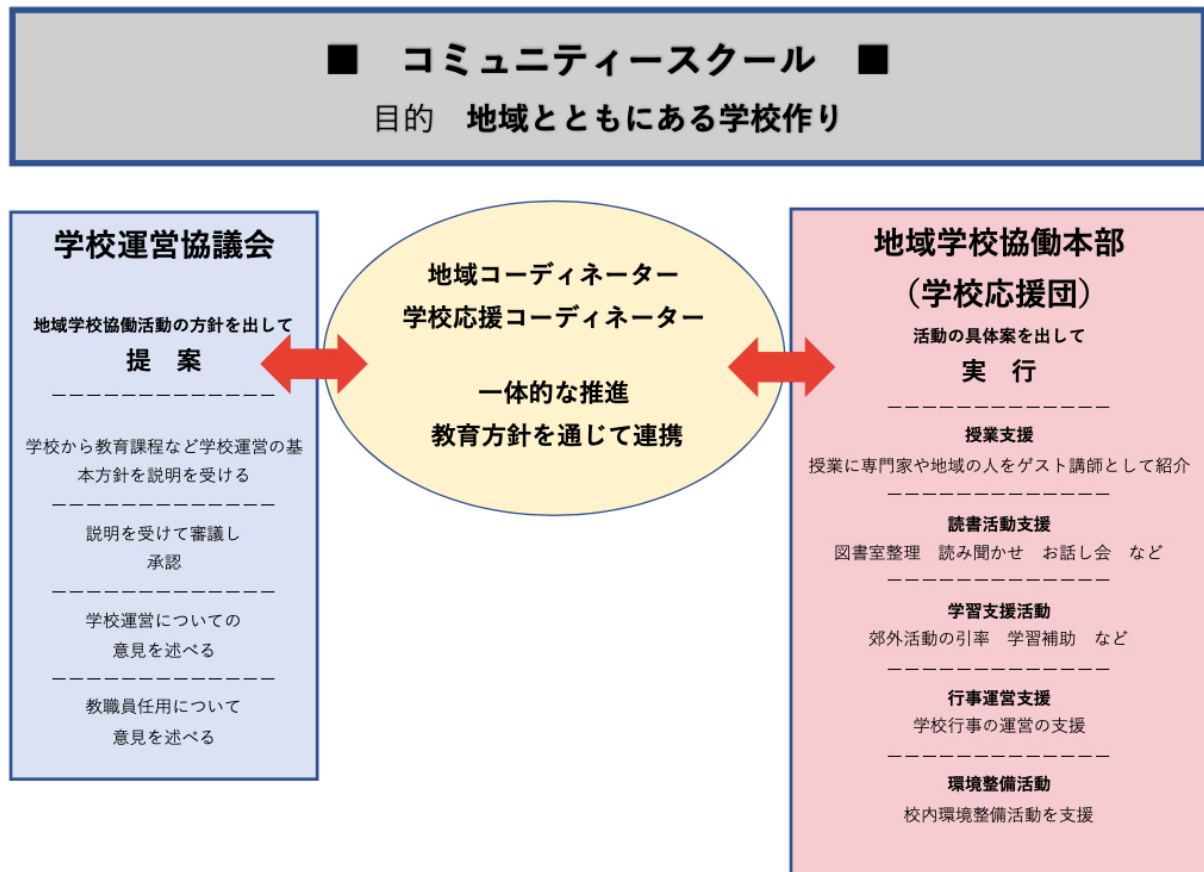


学 校 応 援 団

学校応援団 とか 学校運営協議会 とか コミュニティスクール とか…

何ですかそれ？

聞いたことあるけど何だかわからない、聞いたことすらない、でも大丈夫。
できるだけ簡単に説明しますので、保護者の方々にもこれらの活動の必要性をご理解いただけたらと思います。



■そもそも コミュニティー・スクール とは

埼玉県教育委員会が、地域の方々と目標やビジョンを共有し、地域と一体になって子供たちをはぐくむ「地域とともにある学校づくり」へと転換するための有効手段として推進しています。

保護者を含めた地域住民が参画する学校運営協議会を設置し、地域団体や企業や協力者と連携・協働しながら学校運営に取り組む学校のことをコミュニティ・スクールとしています。

学校運営協議会が学校運営を踏まえて活動の方針を出し、学校応援団にて具体案を出して実行します。その繋ぎ役としてコーディネーターを配しています。

今までも学校と保護者の連携により子供達の学びを守り高めてきましたが、さらに地域も含めた取り組みと言えるでしょう。

■地域とともにある学校作りはどんなメリットがあるのでしょうか？

●子供や保護者にとってのメリットは

- ・不登校やいじめ問題などの課題に学校外でも見守りや対応をすることができる
- ・授業補助など学校だけでは対応できない学習ができる

●地域にとってのメリットは

- ・若者の地元定着
- ・地域の防災で学校との連携を深められる
- ・伝統文化・産業の振興や子供たちへの継承を促進できる
- ・自分の能力を生かしやりがいのある活動に参加できる

●学校にとってのメリットは

- ・プログラミング教育など情報端末の操作の補助や専門家の紹介など学校だけでは対応が困難なことを協力いただける
- ・特色ある教育活動のために地域のゲスト講師依頼や体験学習などを実施しやすくなる

以上のようなメリットが期待されています。

■どんな活動例が考えられるでしょう。

- ・身近な社会貢献ボランティアなどを子供たちに体験させる
- ・学生ボランティアや教員OBなどが指導する放課後学習の場作り
- ・校外学習の引率
- ・特色ある教育のためのゲスト講師紹介
- ・地域の方の読み聞かせ
- ・見守り活動
- ・運動会準備片付けの補助

など 私たちの地域でできること活かせることを考えていきます。

■まとめ

今までにも ふれあい5ネット、シルバーさん、茶道クラブの先生など、地域方々のご協力をいただいておりますが、それらの方々を含めて、学校運営を理解していただくなどより連携を強化し、地域活性化などの社会的意義が込められた組織活動であると考えられます。

保護者の皆さんは同時に地域住民でもあります。

PTAの枠を超えて学校応援団にご協力されることも可能ですし、何か学校に協力したい地域の方に声をかけるなどでもできると思われます。

また今後地域の方々が子供たちの成長にこんな風に関わってくださるであろうことも知っておかれると良いと思います。